

「天使の森」プロジェクト

「天使の森とSDGs」から～「みんなのトイレ」を考える。

NPO法人アースカーエッジは、生態系の中の一部である人と自然の在り方という原点から、森林の再生、里山の暮らし、地域循環型産業を考え、実現に貢献していくことを目的とし、また未来につながる子ども達に自然と人のあるべき関係を知るきっかけとなるよう、2010年より「天使の森」プロジェクトを活動しています。将来現地は「環境学習公園」として展開の構想もあります。今回、この「天使の森」に公衆トイレをつくるにあたり、JIAが取り組むSDGsを理解し、「みんなで考え、みんなで作る。」協働参加型プロジェクトとして、多くの人々が自然と対峙し、「持ち込まない、持ち出さない」を元に、「みんなのトイレ」に取り組みたいと思います。さらには災害時や世界中のトイレを考えることにも繋がります。

(※「天使の森」：NPO法人アースカーエッジの環境保全・河川流域産業の活性化プロジェクトの活動の場である山林)

今回は序章として、「天使の森」と「SDGs」を理解し、次回以降へのワークショップに繋がることを期待します。

当日は学生の皆様からの積極的な意見、質疑を交えた勉強会となるよう期待します。



天使の森から三河湾を望む

日時：2019年9月23日（月祝） 13:00～14:45

会場：円頓寺屋外ステージ

登壇者：六鹿 正治（公益社団法人日本建築家協会（JIA）会長）

小原 淳（NPO法人アースカーエッジ理事長（小原木材㈱代表取締役））

～今後の展開と活動予定～

- 内容① 参加者を5～10名程度のチームに分け、チームごとに集まり1つの案を作り、定期的に全体で集まりアイデアの紹介や状況報告し合う。それと同時に、全体で集まる時にはシンポジウムや勉強会の形式で、毎回担当のチームがテーマに沿って学習してきて、それを全体に還元し、共有していく。
- 内容② 建築学にとどまらず、生態学、地質学、植物学、防災学、企業などの幅広いメンバーと参加者がお互いの知恵と知識を共有し、自然と対峙しながら「みんなのトイレ」について考える。
- 内容③ 「持ち込まない、持ち出さない」：現地資材の活用と廃棄物の現地処理。
- ※ 10/19 植樹準備 11/3 苗木植樹（各当日参加することにより体験し考える。）
 - ※ 2020年4月末完成予定。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



←SDGs（エスディージーズ）

2030年までにそのすべてを達成することによって「世界をよりよく変える」ことを目指す具体的な行動指針。持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲット（達成基準）からなる、国連の開発目標。

↓参加登録は下記QRからお願いします。
 参加費：会員及びCPD単位取得者1000円/日（CPD単位2単位）市民・学生は無料
 23日の他のプログラムに参加できます。（まちなかパーティーを除く）

東海支部大会
2019



けんちくかフェス

「此処から～」ー調和を和こえる超和、まだ見ぬ先の一

【お問合せ】
 (公社)日本建築家協会
 東海支部愛知地域会
 t 052 263 4636

登録は
QRから

